

柔らかなココロ

「直感力」



時として、心地いい人間に出会うタイミングがある。それは男性女性関係なく。今までそう長く生きていく訳ではないので、そんなに多くはないのだけれど、「この人！」と、思った人間が何人かいる。そして出会った時は何の躊躇もなく直ぐに連絡先を交換する。

心地いい人間の基準は直感。しかし、この私の直感はなかなかのセンスの持ち主のようで、幸せなことに各々長くお付き合いをさせて頂いている。

スピリチュアルを勉強している友人によると、この直感は先天的ではなく、ほぼ後天的要因で形成されているとのこと。友人言わく「優子ちゃん小さい頃からスポーツを通じて直感を鍛えていたのよ〜。勝負を左右する判断を下さなければいけない時はほんの数秒もないでしょ、その時間で理論を頭の中で組立てることはできないじゃない。」ふむふむ、スポーツを行うことでそんなメリットもあるのね。と、素直に思った。

ちょっと待て。

でも最近は勝負をする事なんてほとんどナイ。直感が衰えてもいいはずだ。しかし、3年前あたりからかなり冴えている。そう、子どもを出産したあたりから。最近では危険な人や場所や雰囲気までも瞬時に察知しがちである。ここまで言うてしまうと霊媒師の如く捉えられがちだが、多くの母親に共通する感覚だと思っている。

子どもって、時として親の想像の上をいく。こちらがある程度予測して動いていても反することも多々。常に想像力を巡らせ子どもの安全の確保に務める。小さい時は尚更。そう気を付けているんだけど、ついつい出来ている子どものたんこぶ。ま、たんこぶくらいいいか、の気持ちを持たないと身がもたない。

話は変わって、来月、今まで柔道に触れたことのない親子が、柔道に触れて畳で遊べる、新たなイベントを開催する事になっている。山口県内90店舗のスーパーを持つ(株)丸久と徳山大学がコラボして、「第一回子どものカラダづくりフェスタ」という親子の柔道教室と食育をテーマにしたイベント。(この丸久さんの企画担当の方と初めて会った時も大変失礼な言い方だが面白そうな人だなあと、直感として感じていたな)

人のご縁とは不思議なものだをつくづく実感することが多い今日この頃、変わらず直感も大事に何気ない日常も大事にしていくことが明日に繋がっていくのかなあ、と思いつつ今日もまたゆるりと頑張ります。

(近藤 優子)